## 日本WHO協会の活動に ご協力ください

## ●入会のご案内

事業の一層の発展を図るため会員を募集しています。

【年会費】	個人	法人
正会員	50,000円	100,000円
賛助会員 (学生)	1口 5,000円 (2,000円)	1口 10,000円

<sup>※</sup>正会員は理事会の入会審査を経て承認されます。

## ●寄付のお願い

事業に必要な資金は主に会員の方々の会費および事業収入を 充てていますが、今後さらにその内容の拡大・充実を図るに は、寄附金が必要です。

当協会の事業活動にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますよう心よりお願い申し上げます。

皆様からお預かり致します寄附金は、当協会の「寄附金等取 扱規程」に則り、有効に使用させていただきます。

なお、当協会は、内閣総理大臣より「公益社団法人」としての認定を受けておりますので、**当協会への寄付金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用**され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

#### ※賛助会員の会費も寄附控除が受け られます。

また、税額控除に係る証明 (→右図)を取得しておりますので、個人様の寄付については前記 (所得控除) とのいずれか一方を選択いただくことができます。くわしくは、当協会のWebサイトにある「寄付金による節税効果のシミュレーション」をご覧ください。



また、クレジットカードによる寄付もできるようにしています。 くわしくは、https://japan-who.or.jp/m\_subscription/subscription.html をご覧ください。

#### ●ご送金方法

下記の銀行口座にお振込みください。

口座名義は、「公益社団法人 日本WHO協会 シャ)ニホンダブリューエッチホーキョウカイ」 ※<u>お振込みの前に、お名前、ご住所、ご連絡先(TEL)をお知らせください</u>。 (領収証をお送りするために必要です)

●銀行名 : 三井住友銀行
支店名 : 大阪中央支店(710)
口座番号: (普通) 8288488

●銀行名: りそな銀行 店番:大阪営業部(051) 口座番号: (普通)0699291

●銀行名: ゆうちょ銀行 店番: 099店 (099) 口座番号: (当座) 0135534 役員

中村安秀 大阪大学名誉教授 / 国立看護大学校特任教授 理事長 更 家 悠 介 サラヤ(株)代表取締役社長 昭 夫 (一社)生産技術振興協会 執行理事兼事務局長 業務執行理事 巽 業務執行理事 新 居 誠 一 郎 新居合同税理士事務所代表税理士 理 事 英 夫 (一社)大阪府薬剤師会会長 理 事 岩本洋子岩本法律事務所弁護士 理 上 山 直 英 大日本除虫菊(株)代表取締役社長 事 理 事 大 谷 順 子 大阪大学教授 小笠原理恵 大阪大学大学院医学系研究科 特任講師 (常勤) 玾 事 小 田 節 子 ポリグル・ソーシャルビジネス(株) 代表取締役社長 理 明 大阪公立大学特任教授 / スウェーデン・カロリンスカ研究所教授 事 理 加納康至一般社団法人大阪府医師会会長 理 事 阪田敦視(株)プロアシスト代表取締役社長 理 事 芳 樹 社会医療法人警和会 大阪警察病院院長 山紀子 大阪大学大学院医学系研究科 特任准教授(常勤) 事 深田拓司(一社)大阪府歯科医師会会長 理 事 藤 本 加 代 子 社会福祉法人隆生福祉会理事長 松浦成昭大阪国際がんセンター総長 玾 事 事 安田 直史 元近畿大学教授 大 和 泰 隆  $_{\overline{y}}^{NPO法人エコデザインネットワーク}$ 理 事 理 事 山 本 尚 子 国際医療福祉大学大学院教授

(2025年6月現在)

保 文殊総合法律事務所弁護士

三 木 秀 夫 大阪プライム法律事務所代表

南方得男みなかた公認会計士事務所代表

連絡先; 〒540-0029

河内

事

監 事

大阪市中央区本町橋2番8号 大阪商工会議所5F電話06-6944-1110 FAX06-6944-1136

Friends of WHO Japan





公益社団法人

# 日本WHO協会



WWW.IAPAN-WHO.OR.IP

公益社団法人 日本WHO協会は、世界保健機関(WHO) 憲章の精神を普及徹底し、世界の人々の健康増進に寄与 することを目的として設立され、現在、人材育成事業等 の5つの活動に取組んでいます。

当協会の活動にご賛同いただける方は是非会員(正会員、 賛助会員)として私共の活動にご参加ください。 また、当協会ではこれらの活動を推進するために広く 善意の方々のご寄付を募っています。法人、個人を問わ ず一人でも多くの方々のご協力を心からお待ちしています。

## ごあいさつ



公益社団法人 日本WHO協会 理事長 中村 安秀

皆さま方には、公益社団法人日本WHO協会に格別 のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申しあげま す。

日本WHO協会は、1965年に民間組織として設立され、国際連合の専門機関である世界保健機関 (WHO) と密接に連携し、WHO憲章の精神を普及する活動を展開してきました。

2015年には、国連総会において「持続可能な開発目標(SDGs)」が提唱されました。本協会は、世界の人々の健康を守るために地球市民の一員として、WHOをはじめとする国際機関、国、地方自治体、民間企業、病院や大学や研究所、NGO/NPOなどの市民社会などと協働しつつ、SDGsの目標達成をめざして活動しています。

具体的には、海外に羽ばたこうとしている若い世代の育成、WHO活動の日本語での発信、国内外の健康に関するセミナーや啓発活動を行っています。2024年度からは、休眠預金活用事業「だれひとり取り残されない外国人医療」を実施中です。

今後も、皆さま方のご理解とご協力のほど、何とぞ よろしくお願いします。

2025年4月

## 沿革

1948 世界保健機関(WHO)設立

1996 WHO健康開発総合研究センター開設

- 1965 社団法人日本WHO協会設立(本部;京都)
- 1966 世界保健デー記念大会事業を開始
- 1981 老人問題に関する神戸国際シンポジウム開催
- 1985 健康相談室開設。中高年向け健康体操教室開講
- 1998 WHO創設50周年シンポジウム開催
- 2000 WHO健康フォーラムを全国各地で開催
- 2006 事務局を京都から大阪へ移転
- 2007 財団法人エイズ予防財団(JFAP)への助成開始
- 2008 事務局を大阪商工会議所内に移転。
- 2009 『目で見るWHO』を復刊。パンデミックと なったインフルエンザ対策セミナー開催
- 2010 WHO神戸センターのクマレサン所長を招き、 フォーラム「WHOと日本!を開催
- 2011 日本国際保健医療学会学生部会との共同企画開始 WHOインターンシップの支援開始 メールマガジン配信開始
- 2012 公益社団法人へ移行
- WHO神戸センターのロス所長を招き禁煙セミナー開催
- 2013 第5回アフリカ開発会議(TICAD)公式サイドイベントと してフォーラム開催
- 2014 WHO本部から発信されるファクトシートの翻訳 出版権を付与される
- 2019 「関西グローバルヘルスの集い」開始
- 2020 ラオス小児外科プロジェクト 医療従事者応援はがきプロジェクト開始
- 2022 「世界保健デー」イベントが復活。

第二次世界大戦後の硝煙さめやらぬ1946 年7月22 日、世界の61 カ国がニューヨークに集い、すべての人々が最高の健康水準に達するためには、何をすべきかを話し合い、その原則を取り決めた憲章が採択され、1948 年4月7 日国連の専門機関として世界保健機関WHO が発足しました。

当協会はこのWHO 憲章の精神に賛同した人々により、1965 年に民間のWHO 支援組織として設立され、グローバルな視野から人類の健康を考え、WHO 精神の普及と人々の健康増進につながる諸活動を展開してまいりました。

#### 歴代会長・理事長、副会長・副理事長 (在職期間)

#### 会長/理事長

#### 副会長/副理事長

中野種一郎 (1965 - 73) 平沢 興 (1974 - 75)	松下幸之助 (1965 - 68) 野辺地慶三 (1965 - 68)	坪井栄孝 (1996 - 03) 堀田 進 (1996 - 04)
奥田 東 (1976 - 88)	尾村偉久 (1965 - 68)	奥村百代 (1996 - 06)
睪田敏夫 (1989 - 92)	木村 廉 (1965 - 73)	末舛恵一 (1996 - 04)
西島安則 (1993 - 06)	黒川武雄 (1965 - 73)	中野 進 (1998 - 06)
忌部 実 (2006 - 07)	武見太郎 (1965 - 81)	高月 清 (2002 - 06)
宇佐美登 (2007 - 09)	千 宗室 (1965 - 02)	北村李賢 (2002 - 04)
<b>関 淳一 (2010</b> -18 )	清水三郎 (1974 - 95)	植松治雄 (2004 - 06)
中村安秀 (2018- )	花岡堅而 (1982 - 83)	下村 誠 (2006 - 08)
	羽田春免 (1984 - 91)	市橋 誠 (2007)
	佐野晴洋 (1989 - 95)	更家悠介 (2008 - 12)
	河野貞男 (1989 - 95)	生駒京子 (2018 - 23)
	村瀬敏郎 (1992 - 95)	更家悠介 (2018 - )

加治有恒 (1996 - 98)

## 事業活動

献

究

WHOの行っている活動や情報を多くの人びとに 迅速に適切にお伝えするという使命を担っています

#### WHOインターンシップ°支援

国際保健医療分野に羽ばたく若者を支援



#### jagh-s (国際保健医療学会学生部会) と共催

#### 共催フォーラム開催

感染症(2020)、2025問題(2019), SDGs(2018)、UHC(2017)、 命をつなぐ食(2016)、予防接種(2015



#### 関西グローバルヘルスの集い

グローバルヘルスに関する 諸問題を自由に議論をする場 (隔月開催)



#### フォーラム開催

世界保健デーのテーマや 市民ニーズの高いテーマで実施

- ・UHC/フレイル/認知症/うつ病/口の健康・
- ・関西感染症フォーラム(毎年)

## 機関誌「目で見るWHO」発行



Webサイト ファ

## ファクトシートの翻訳

2014年3月、WHO本部より翻訳権付与



#### WHOの主なニュースの翻訳・発信

年間約300件のニュースを発信